

# Younger Active Town

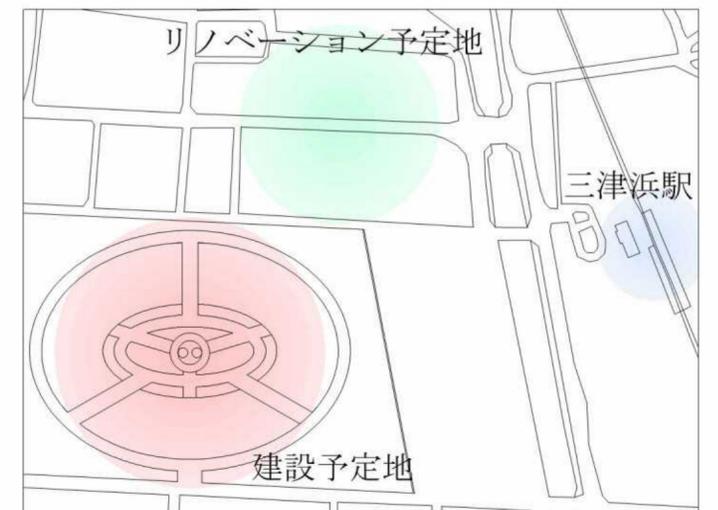


## 設計主旨

現在愛媛県に足りないものは若者が活躍する環境と言われており、愛媛県庁から出されている県民アンケートで最も多く票を集めています。そこで若者が活躍する環境を作るためには、若者が大人とつながりを持つ場を作ることが大切だと思いました。この施設では、若者のやりたいとと思っていることを実践している大人に直接出会い、話を聞く場やチャレンジできる場が必要あると考えました。そのため、私が設計する施設は若者と大人とが直接出会うことができ、それに加え愛媛県の三津浜にある空き家などをリノベーションして若者がやりたいことをチャレンジできる場を提供する、そんな施設を設計しました。

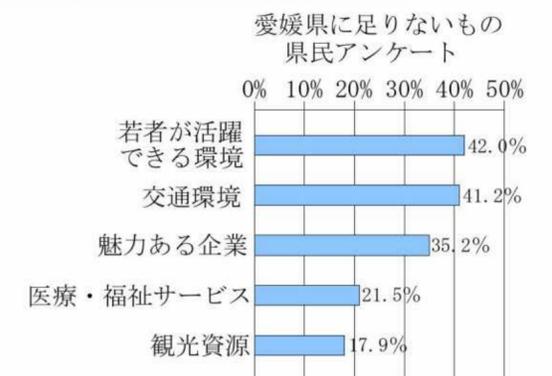
## 詳しい設計予定地

この施設は、愛媛県松山市三津浜での設計を予定しています。三津浜は県内外からのアクセスが良く三津浜駅から徒歩圏内で陸路として利用できます。その他に、三津港があり航路として利用できアクセスがとてもいいので予定地としました。



周辺地域マップ

## 県民アンケート



このグラフを見てわかるように「愛媛県に足りないもの」での県民アンケートで一番多く表を集めている。若者が活躍できる環境が少ないがために若い世代の人たちが愛媛県を出て行ってしまおうと考えました。

施設の活動

# Activity

この施設は若者のやりたいことを実際に体験できる施設で最終的な活躍の場が三津浜から愛媛県全体に広がるようにサポートすることがこの施設の活動内容です。

参考建築物

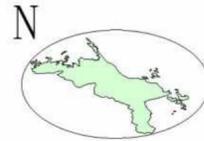
# Reference



対話

# Interactive Labo

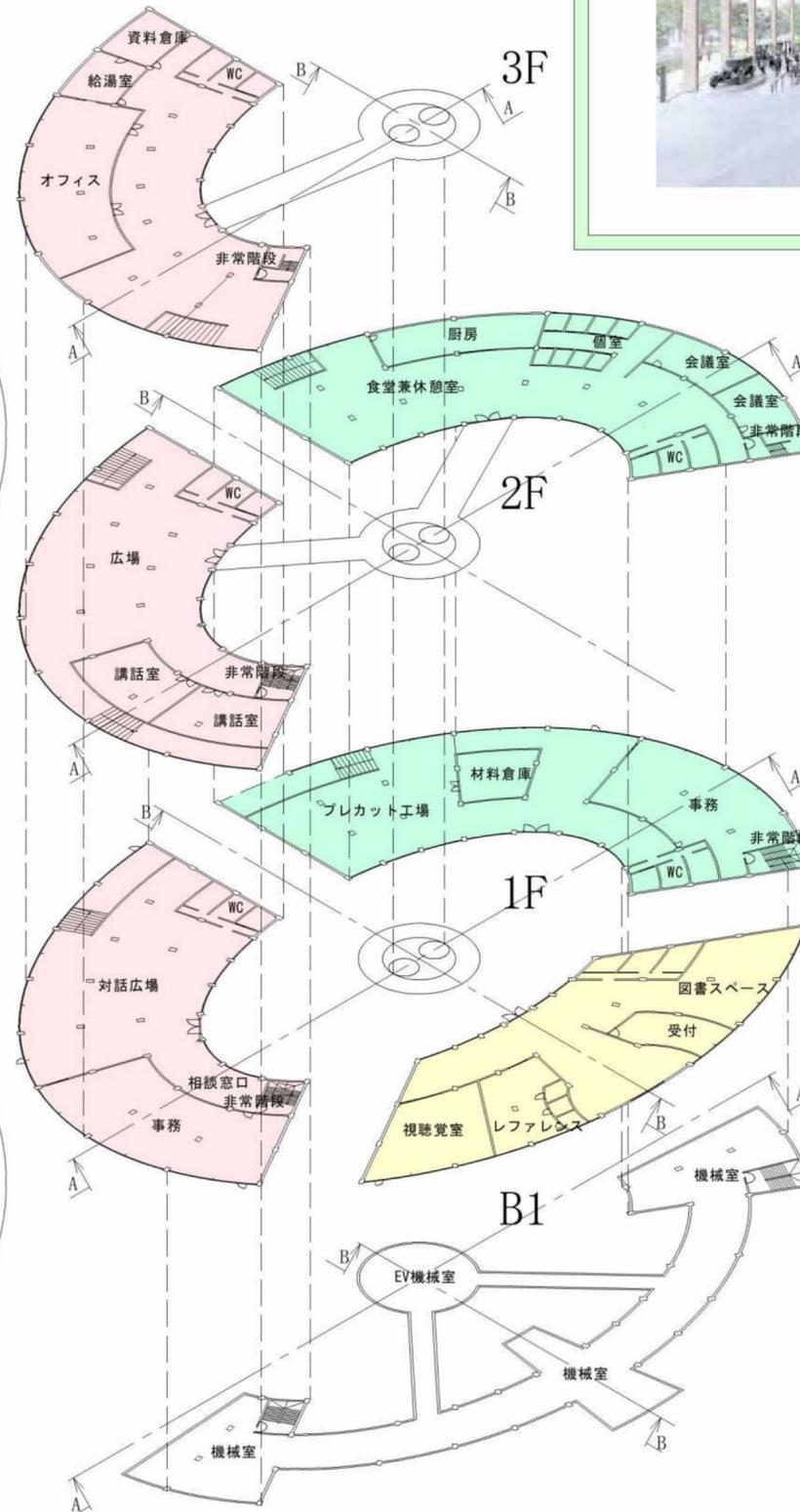
インタラクティブ(対話)ができる棟となっていて若い世代の人がやりたいと思っていることを生業としている世代の人との対話の空間が提供できる棟



調べる

# Research Labo

リサーチ(調べる)ができる棟となっていて若い世代の人がやりたいことや仕事について調べることができる場でたくさんの情報が手に入る棟



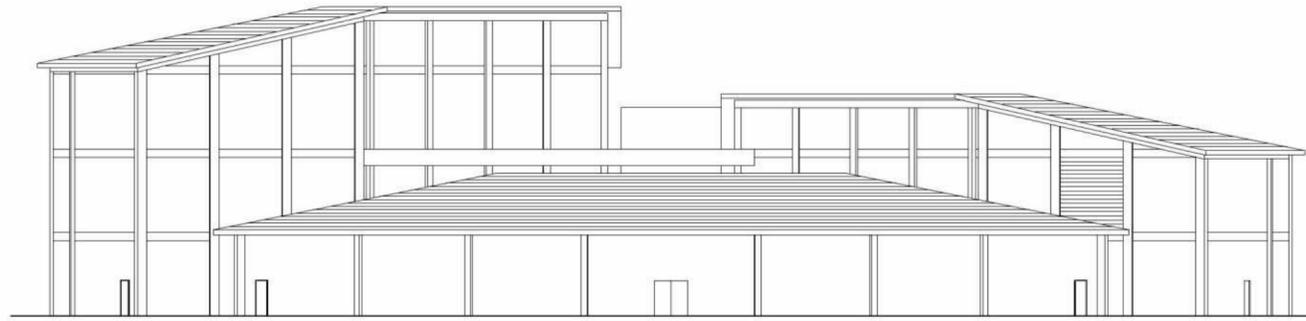
平面図

# 再生 Renovation Labo

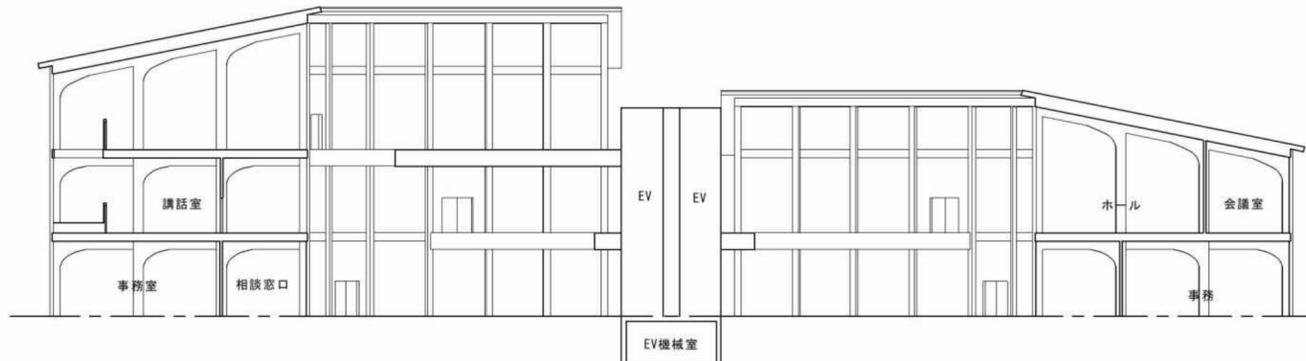
リノベーション(再生)ができる棟となっていてまちの再復興や若者が社会に出る経験ができるように一つのまちから関わりを広げていける棟

|       |                         |      |                         |
|-------|-------------------------|------|-------------------------|
| 敷地面積  | 7,967.068m <sup>2</sup> | 建築面積 | 2,086.31m <sup>2</sup>  |
| 1階床面積 | 1,909.302m <sup>2</sup> | 延べ面積 | 4,653.515m <sup>2</sup> |
| 2階床面積 | 1,347.88m <sup>2</sup>  | 建ぺい率 | 26.19%                  |
| 3階床面積 | 673.940m <sup>2</sup>   | 容積率  | 58.41%                  |
| B1床面積 | 722.393m <sup>2</sup>   |      |                         |

開放的  
Carefree



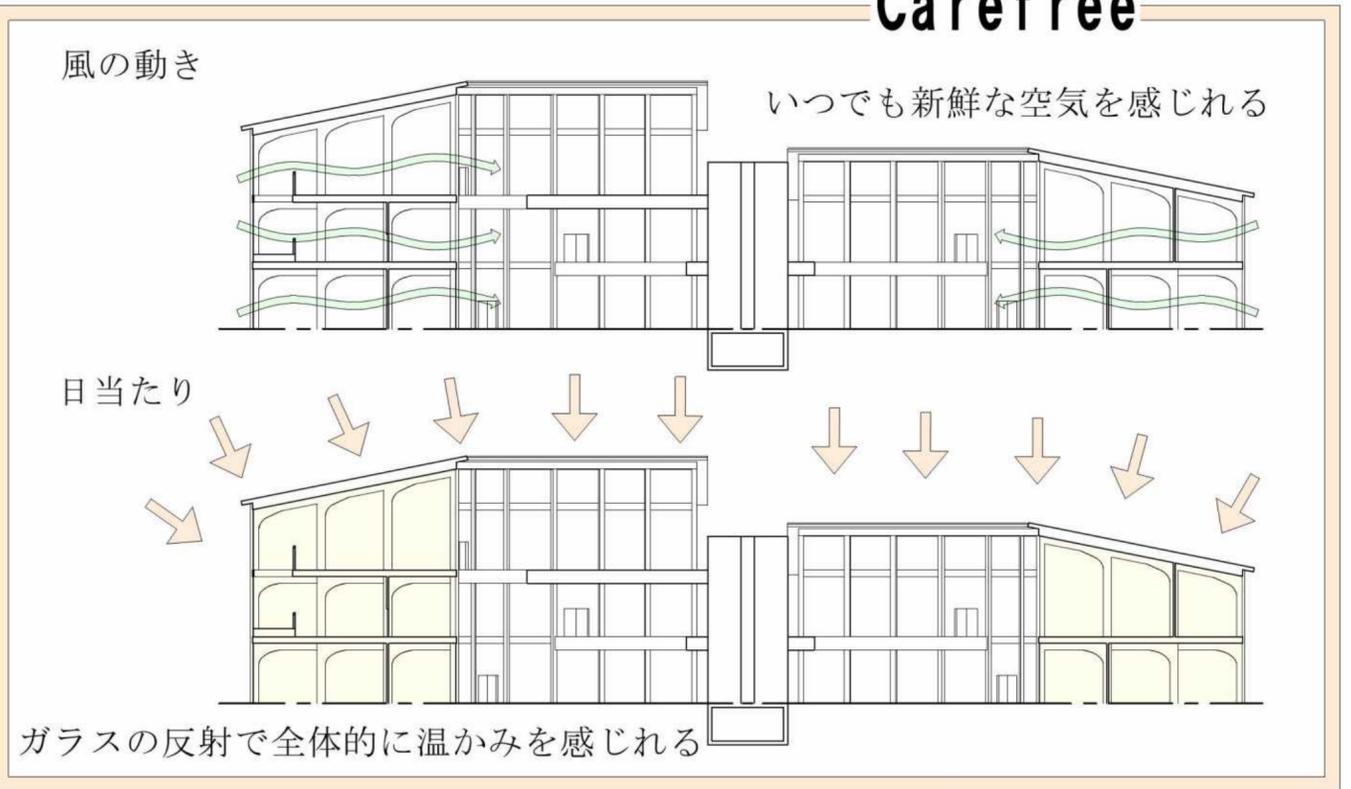
南立面図 S=1/300



A-A断面図 S=1/300

外観  
Facade

外観は木材を基調とした外観で設計しており、外観参考建築物のようにガラス張りにすることで開放感を持たし日当たりをよくしました。



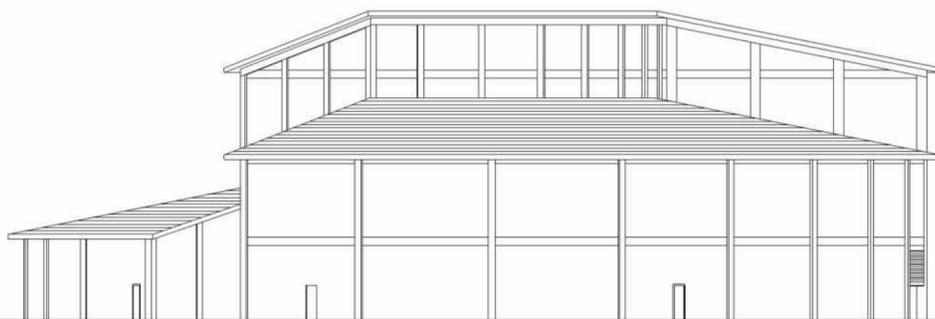
Research Laboを見上げた様子



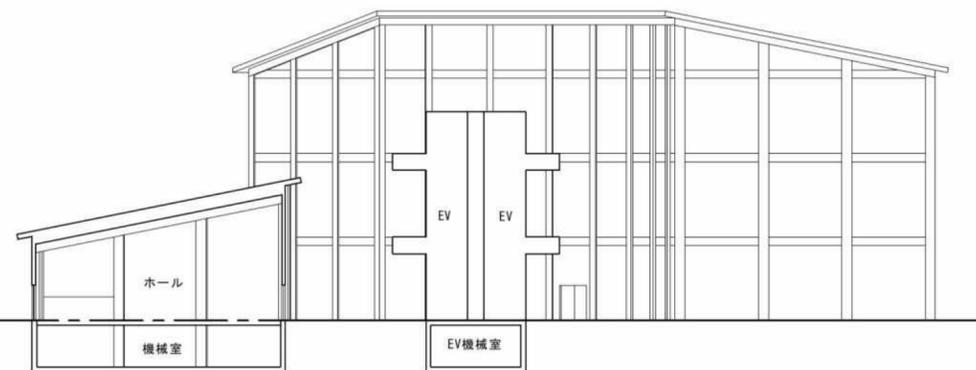
施設に立ち寄る若者の様子

One Point

この施設は外観は主に白色で設計しており、三津浜のまちなみの景観を崩さないように、派手な色を使うのを避け、木材やガラスなどを利用してシンプルな建物にしました。



東立面図 S=1/300



B-B断面図 S=1/300

# Renovation Area

三津浜地区は江戸時代に漁業や商業で栄えていたまちでありかつての問屋などの近代的な建築物や町家等の風情あるまちなみが残っています。(写真①)この景観を残しながらリノベーションをしようと考えました。写真②はリノベーション予定地の三津浜商店街の中の一部です。この商店街は現在シャッターがおろされていて半分以上が利用されていないので再復興の意味も含めてリノベーションの予定地としました。

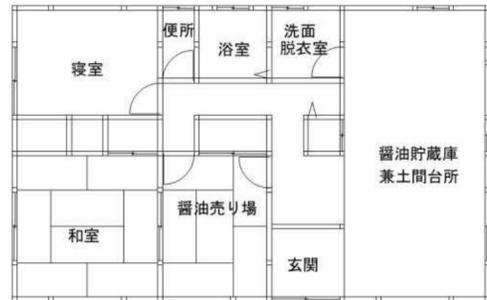


写真①(風情あるまちなみ)



写真②(現在の三津浜商店街の一部)

before



194m<sup>2</sup>の元民家

after



古民家カフェ

## 具体例 Example

かつては醤油屋さんを営んでいた民家を年代を問わず誰もが楽しむことができる古民家カフェにリノベーションすることにした。このカフェのおかげで一つ三津浜商店街がにぎやかになった。



リノベーション後の建築物(予定)

## CLTとは？

繊維方向を交差させた板を、何枚も貼り合わせて作った板のこと

## CLTの特徴・メリット

- 1, CLTを使用する建物は、コンクリートを使う建物よりもはるかに早く施工ができます。
- 2, とても軽量な材料で同じサイズの重量で鉄筋コンクリート比べ1/5ほども軽くなります。
- 3, 集成材は柱や梁などの軸材に使われるのに対して、CLTは軸材だけでなく床や壁などの面材としても利用できます。このほかにもたくさん特徴やメリットがあります。

CLT パネル工法は、これらの優位性から建築物木造化の限界を押し広げ、大型施設や中層ビルなど新たな用途での木材需要を飛躍的に拡大できる可能性を秘めています。

